



広報 あくな

第350号

世帯数と人口 (2月1日現在)		
世帯数	9,230	(-1)
人口	30,891	(+4)
男	14,398	(-6)
女	16,493	(+10)
()内は前月比		

昭和43年9月20日 第3種郵便物認可・毎月1回10日発行
昭和51年3月10日 鹿児島県何久根市役所編集発行 1部10円



郷土に生きる

漁業振興は港から

牛之浜 松永照恵さん(42)

1人です。ご主人の隆喜さん(45)の漁業を手伝うようになったのが昭和47年。45年に導入したゴチ網漁業も軌道にのり、夫婦での沿岸漁業が始まったのです。

船酔いも半年ほどで、どうにか克服。「苦勞した漁獲物が、よい値段で入札されたときの喜びは、何ものにも代えられません」と言われる照恵さん。苦勞があるからこそ、喜びをひとしお感じるのでしょう。

2月25日には、東京で開かれた第22回全国漁村青少年婦人活動実績発表会で、「漁業振興は、港から」と牛之浜漁港の実情と改修を訴えてこられました。

東支那海に面した小さな漁港。牛之浜漁港を母港とする45隻の漁船。ここには、夫とともに出漁する15人の主婦がいます。

松本照恵さんも、その中の

昭和51年

3月号

澱粉価格の保証が急務

甘しよ問題研究会を発足

本市の基幹産業のひとつである農業の中で、甘しよ問題は大きな課題となっています。国際的な不況のなかで、低迷を続ける澱粉価格の影響を受けて、甘しよをめぐる情勢はますます厳しいものになりつつあります。

そこで市では、甘しよ作の安定化などについて対策を検討するために、甘しよ問題研究会を発足させ、今後の具体的な取り組みを進めていくことになりました。

この研究会は、農協、農委委員、農会、農会、小組合長、生産者などの代表者二十人で構成されています。

従来、農協系統、農委委員会系統と別々の機関団体で協議されてきた甘しよ問題を



研究会で甘しよ対策を検討

一体化した体制のなかで協議し、本市の主幹作物である原料用甘しよを、需要の動向に際して、安定化させていくことがねらいです。

本市の畑作面積は、千四百七十三畝です。そのうち甘しよ生産は六百七十畝、重量にして一万三千九十トンが昨年の生産実績です。

甘しよは、干ばつ・台風などの天災のほか、連作に強く、粘土質の多い本市の畑地に最適とされています。実エンドウ栽培が伸びるにつれて、その裏作としても甘しよは欠かせない作物となってきました。

しかし、甘しよを取りまく情勢は厳しいものがあり、農家は、生産販売に不安を抱えています。と

甘しよ作は維持

必要な計画的出荷

研究会では、これらの問題を解決する当面の対策として、本市の甘しよ作を維持していくという基本的な立場から、次のようなことを確認し、具体的に取組むことになりました。

- ①甘しよ生産価格、澱粉価格の保証と全量消費。
- ②公害設備の完備した園芸出本アール工場での処理増量。
- ③本年六月から実施される澱粉工場の公害規制の実施延期。

くに昨年は、公害問題なども絡み一部澱粉工場の操業中止があり、生産農家では販売に不安をもつ農家もありました。

国際的な不況のなかで、澱粉需要も伸び悩み、操業期になっても前年度の甘しよ澱粉が、相当数量余り、国際的な澱粉の低迷と相まって、売れゆき不振となりました。

加えて澱粉企業に対する公害規制は厳しさを増し、本年六月二十四日からは、BOD（生物化学的酸素要求量）で、現在の一八〇〇ppm以下から、一二〇ppm以下へと、一段と厳しくなります。

そのため澱粉工場が操業を続けるには、公害防止設備に多額の投資を要するため工場経営者にとっても困難なものとなっています。

これらのことを、国や県に陳情要望していくことになりました。

また、休業している澱粉工場の一部に、操業再開を要請する一方県経済連と出水地区農協の経営による農協系統の新設工場についても、意見がありました。

甘しよの産地指定を受け、甘しよ

生産を安定化させることについても論議されましたが、指定を受けることによって、生産価格が安くなるようでは困ることになります。

そのほか適地には、青果用甘しよの栽培を奨励するとともに、原料用甘しよにおいては、優良品種の作付を指導していく考えです。

現在、原料用甘しよとして出荷されている一部には、飼料用二等品や黒斑病などの甘しよなど不良品も出荷されています。研究会では、他に適当な代替作物もない実情であり、厳しい情勢のなかで、商品性の高い、甘しよ出荷を呼びかけています。

本年も、昨年操業した澱粉工場のうち一工場を除き、全工場とも操業される予定です。出水地区における昨年の甘しよすり込み実績二万トに対して、今年の甘しよすり込み計画は、二万一千トです。従って、秩序ある計画的な出荷がなされる限り、甘しよ販売に混乱はないと考えられます。

いづれにしても、甘しよ問題は、国や県など政治的に解決しなければならぬ問題であり、農家が安心して作付できる体制を確立することが急務だと考えます。

野焼きなど火入れ前には

届出をしましょう

稲作転換に奨励金

水田総合利用対策

日本の食糧生産と、稲作への生産転換を図る稲作転換対策が、実施されてきました。この関係を見るとき、たとえ、米が大量に余っている反面大豆や小麦などは極端に不足しているなど作物による自給率の低さが目立ちます。

その中で四十六年度から今年度まで過剰気味

①一般奨励作物(全国共通)
飼料作物、野菜、大豆、さとうきび、そば

②特認作物(地域指定の作物)の

①の稲作を減らし、自給率の低い他の作物への生産転換を図る稲作転換対策が、実施されてきました。ところで今日、世界の食糧不足は深刻化し、わが国も、今後一層調和のとれた食糧生産を目指して努力することが望まれます。

このため、昭和五十一年度から五十三年度までの予定で、水田総合利用対策が実施されます。これは、五年間実施されてきた稲作転換対策の内容を、おおむね引き継ぎ、稲作奨励の作物の一部に、変更を加えたものとなっております。その概要は、次のとおりです。

待望の大川中校舎完成

六月には阿中校舎も

大川中学校(若松三校長・生徒数二百六十五人)の校舎が、このほど完成し、新しい校舎での授業が始まりました。

この校舎は、五千九百七十万円の仕事として、昨年八月着工した

- うち食糧農産物
- ①の作物 四万円
 - ②の作物 三万五千元
 - ③の作物 三万円
- 作物ごとに集団転作する場合の加算額(十ヶ畝り)
- ①の作物 七千元 (大豆は二万円)
 - ②の作物 五千元
 - ③の作物 三千元
- なお、詳しいことについては、市役所農政課にお問い合わせください。

市長報告

さきほど、機会を得て金丸知事と会談した際、話題となった次のことについて、お伝えいたします

① 昭和五十一年度中に広域農道計画の調査実施

② 新年度中に新庁舎で執務

を円滑にするなどその利益は計り知れないものがあり、一方、国道バイパスとしての期待も大きいといえます。昭和五十三年度着工が待たれるところです。

広域農道 53年度着工予定

県ミニ合庁も新築に

北薩圏の出水広域農道、団地整備計画の中で広域農道の建設が計画されております。

計画によりまずと出水市、高尾野町、野田町、阿久根市の山麓地帯を縦断する延長三〇キロ、道路幅七・五尺の舗装道で各農産圃地を結び、農畜産物集出荷の合理的輸送

市役所の一隅で水い間不自由をかこっていた農業改良普及所、水産改良普及所が今年中に建設される庁舎に移転します。建設場所は未定ですが、広い会議室、調理室も設けられるなど市民のみなさんの心より所として期待されます。



立派に完成した大川中校舎

新しい校舎は、全生徒を収容する教室(7)のほか、校長室、職員室、事務室、資料室などがあります。旧校舎は、白アリや雨漏れなどにより、危険校舎であったため改築されたものです。

この校舎の完成により、旧校舎二棟のうち、南側校舎は全部解体され、北側校舎の一部は、保健室教育相談室、生徒会議室、柔道場体育準備室などに残されます。

解体された校舎の敷地は、運動場として使用されます。新校舎で快適な授業を受けている生徒たちは、更に伸び伸びとした運動を楽しむことができます。

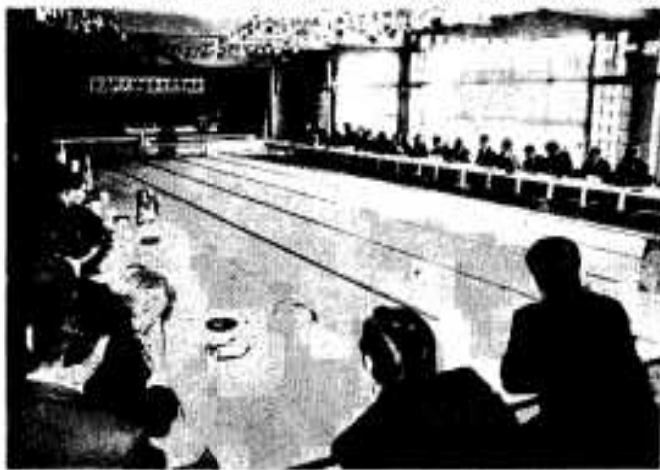
また、阿久根中学校の危険校舎も改築されることになり、二月二日、工事の安全を祈願する地鎮祭が行われました。

建設される校舎は、鉄筋コンクリート二階建てで、延べ面積八百十六平方メートルで、六月末完成の予定です。

甌島側から二十四人が出席

廃航後初の経済懇談会

甌島航路が廃航になって一年。廃航後、はじめての甌島、阿久根経済交流懇談会が二月二十五日国民宿舎で開かれました。本市側から、坂元市長をはじめ市議会、商工会議所、農協漁協などの代表が出席。甌島側から、上甌村、下甌村、里村鹿島村の助役など、商工会、村議会、漁協の関係者二十四人が出席。航路廃航後も交流はあり、今後一層、交流を深めていくことが確認されました。



活発な論議があった懇談会

阿久根と甌島の交流は、旧藩制時代からあり、明治四十二年から定期船が運航されてきました。ところが、昨年一月、甌島航路の必要性と存続を訴える住民の声にもかかわらず、寄港中止となり、甌島を結ぶ航路は、串木野港だけとなりました。このため、阿久根甌島四村との交流に支障がでていた実情です。甌島航路復活には、民間会社との航路権の問題が格み不可能な状態です。そこで、本市と甌島四村の懇談会を開き航路廃航後も交流が続けられている実情を直視し、今後一層の交流を深めることになりました。阿久根と甌島の航路廃航は、本市と甌

島との経済に大きな影響を与えています。鳥の経済に大きな影響を与えています。

好評の文旦・きびなご

名古屋市で物産展



好評だった物産展

鳥の経済に大きな影響を与えています。鳥の経済に大きな影響を与えています。鳥の経済に大きな影響を与えています。

鳥の経済に大きな影響を与えています。鳥の経済に大きな影響を与えています。鳥の経済に大きな影響を与えています。

鳥の経済に大きな影響を与えています。鳥の経済に大きな影響を与えています。鳥の経済に大きな影響を与えています。

中京地区に鹿児島県の観光と物産を紹介し、観光客の誘致と特産品の販路を開拓するために、ことしも「鹿児島県の観光と物産展」が一月三十日から二月五日まで、名古屋市の丸栄百貨店で開かれました。

物産展では、観光案内所に観光ポスターが掲示され、パンフレットやチラシなどを配付し、南国鹿児島への観光旅行を呼びかけました。また、さつまあげ、かるかん、饅頭、歴久杉工芸品、大島つむぎ

など県下の特産品が出品され、当市からは、青果文旦、文旦漬、きびなご、丸干し、いりこ、あおさなどが展示販売されました。青果文旦は、「大きな珍しいみかん」と、ことしも相変わらず好評で、一ケース十個入りの文旦、二百五十ケースが、三日目には売り切れ。名古屋市で予定されていた「鹿児島県の農産物直送フェア」に出品する文旦を、急ぎ取り寄せる一幕もありました。塩干物のなかでは、きびなごがとくに好評で、まとめて買い上げられたもあり、丸干しとともに、会期中、追加輸送するなど、ますます販路の拡大が期待できそうです。あおさは、今後一層の宣伝紹介が必要と思われました。

竜巻急襲

大谷区黒山で8棟全半壊



屋根かわらは飛び鉄骨の倉庫も損壊



傾いたままの住家

全半壊に見舞金

二月二十八日午後二時十分頃、大谷区黒山で竜巻が発生し住家三棟を全壊、五棟を半壊、非住家など十九棟が被害を受けましたが、幸いけが人はありませんでした。
市では、対策本部を設けて、消防団を召集し復旧作業にあたり、見舞金などをお届けする一方、住宅資金などのあっせんにも、積極的に協力する考えです。

鹿児島地方気象台では、同日は寒冷前線があり、これに南からの暖かい空気が吹き込み、前線附近の気流が不安定となり、竜巻が発生しやすい状態にあったと観測しており、同時刻頃は、どしゃ降り

の天気でした。
竜巻は、幅三十尺、長さ五百尺

にわたって、黒山地区を一襲しています。被害を受けた家屋は、傾いたり屋根かわらが飛んだり、飛んできた材木などで壁が破れたりしており、竜巻のすさまじさを見せていました。

市では、さっそく対策本部を設け、消防団を召集し被災家屋の

被害状況

住家	区分		棟数
	全	半	
住家	全壊	3	
	半壊	5	
	一部破損	8	
	全壊	3	
非住家	半壊	3	
	一部破損	5	

後片付けをする一方、救済を検討しましたが、災害救助法の適用は六十世帯以上、県の小災害救助法の適用は二十五世帯以上となっており、これらの救済は受けられないことになりました。

そこで市と社会福祉協議会から全半壊の世帯に、それぞれ見舞金をお届けしました。また、市からは被災者に毛布を配布。日赤からも、毛布と日用品が配布されました。

被災世帯には、世帯更正資金や住宅資金の貸し付けなどのあっせんに、積極的に協力する考えです。固定資産税・市民税など市税の減免措置については、さっそく減免申請の指導をいたしました。被災者の再建を、心からお祈りします。なお、住家の全半壊以上の被災者は次のかたがたです。

- 住家全壊**
黒坂喜昭、麦生田国利、吉岡達雄
- 住家半壊**
黒坂ヤコ、野村義友、吉岡龍美、西浜修、梶尾勘助

おめでた

出生児	保護者	区名
田中 龍也	四 雄(丸内)	
猿楽 龍一	長 義(佐湯)	
川原 竜太	修 一(柗)	
飛松 竜一	忍 (波留)	
藤 健一	利 成(牛之浜)	
大曲 恵美子	清 隆(上野)	
白坂 あゆみ	裕 一(本町)	
猿楽 真紀	清 雄(佐湯)	
大田 めぐみ	二六三(尻無中)	
白肌 真紀	良 文(大丸)	
福水 成子	薩 男(段)	
若松 将輝	好 房(尾崎)	
木場 瑞代	正 秀(波留)	
新町 郁子	市 正(新町)	
前平 清輝	榮 (牟田)	
前平 清光	榮 (牟田)	
東園 多美	仲 藏(本町)	
朴 辰巳	三 男(大丸)	
的場 和樹	賢 三(的場)	
野中 智子	一 正(上野)	
野田 文徳	徳 二(上野)	
倉津 三千代	利 男(倉津)	
松木 里恵	和 徳(海)	
倉津 亜由美	秀 一(海)	
折崎 かおり	利 美(弓木野)	
根比 冬子	堅 治(浦)	
思玉 典子	伯 二(大尾)	
尾上 寛史	光 行(飛松)	
牛之濱達雄	修 一(牛之浜)	
中野 誠	勝 (的場)	
梶尾 美砂	豊 志(黒之浜)	
小村 美香	作 太郎(瀬之下)	

ひろば

この欄は市民のみなさんのページです。話題や市政に対する意見などがありましたら市総務課秘書広報係までお知らせください。

上床山で少年の集い

スポーツ少年団と子供会が交流



少年少女でにぎわった上床山

明日をになり少年を育成し、体力向上と交流を深めようと、建国記念日の二月十一日、スポーツ少年団と子供会による上床山へ三百二十一材の登山大会が行われました。ことし初参加の子供会からも、川畑中子供会など七団体、約九十人が参加し、上床山山頂は、三百二十人の少年少女でにぎわいました。

昨年、阿久根中サッカー部が全国大会に出場。折々スポーツ少年団は、サッカーとバレーボールで県大会に出場したと発表。また阿久根柔道少年団は、昨年八月、県教委主催の少年柔道大会で優勝するなど、県大会で三回優勝の実績を残したと発表があり、みんなの拍手を受けました。

子供会のなかでは、川畑中子供会から正月に行ったマラソン大会の成果について発表、これからもお互いに交流を深めようと誓い合いました。

シカに野菜をプレゼント

「新鮮な野菜をいっぱい食べて、元気な赤ちゃんを産んで」と、1月31日、市と観光協会は、すっかり観光客のアイドルとなった阿久根大島のシカたちに、ハクサイや大根などの野菜をプレゼントしました。

約120頭のシカのなかには、4月から5月にかけて出産するシカもあり、管理人の野崎政治さん(53)は、「今年は約30頭が生まれそうです」と話されていました。



ワシントンヤシ六十本を植樹

「総合グラウンドに木陰を」と市青年商工クラブ(会員六十三人)は、創立二十周年を記念して、このほど、総合グラウンドに、ワシントンヤシ六十本を植樹しました。

このクラブは、商工会議所会員の子弟で結成されており、自己研修と親睦をねらいに、産業祭や夏まつりにも積極的に参加し、街頭の美化運動として、アーケードのペンキ塗りかえも自主的に進めています。



おくやみ

- 黒神 次助 87(波留)ヤス
- 陳之内ケサカメ95(大下)春可
- 中村 ヨシノ86(的場)健一
- 海平 タ子 90(段)末藏
- 落 吉藏 84(落)カメギク
- 池川 重友 38(濁)チサ
- 西山 ツギノ69(飛松)榮次郎
- 野畑カメマツ68(浦)休右衛門
- 若松ハツキタ79(尻無中)大吉
- 花木 アヲノ75(高之口)清
- 新堀 アサノ77(倉津)常吉
- 大田 スマ 87(尻無上)ミサエ
- 上野 益雄 36(羽田)かず
- 小田 浅治郎84(段)信一
- 花田 兼美 62(波留)スマミ
- 松元 ツナ 92(上野)憲雄
- 松下 栄治 87(大林)シノ
- 柏木 厚義 62(大林)フジノ
- 新戸 勉 31(湯)常吉
- 田添 國義 51(大下)ツタニ
- 川畑 綱良 57(牛之浜)サワノ
- 永田 末吉 92(馬場)ハルミ
- 西園 ツル子49(伊)傳次郎
- 中野 末助 77(仲仁田)タ子
- 大田 梅吉 86(尻無上)隆藏
- 坂元 吉廣 25(大丸)政造
- 米次 スギノ72(尾原)裕志
- 佐徳 恭市 27(佐鶴)亀三
- 日富瀬ヨシノ79(田代中)直南
- 福浦 光榮 71(黒之浜)タエ
- 高津 達哉 80(藤本浜)達郎
- 堂後 南 72(桐野上)ハツエ
- 平ルセ 85(瀬之下)佐右衛門

老人作品展で銀賞

古里の南さん 桐製すしおけを出品



南 末義さん

このほど、鹿児島市で開催された鹿児島県老人作品展に、古里の南末義さん(88)が、桐製すしおけを出品され、銀賞を受賞されました。

南さんは、もともとおけ屋さん五十年の大ベテラン。農業が本業ですが、おけ作りもできるといふことで、昔は注文が殺到し、甘しよやタバコの最盛期には、断るのに困ったほど。

「おけ作りは、合わせ目の勾配のとり方が難しいですね。それに最近では、マ竹が少なくなり、おけ作りもできなくなりました」と言われる南さん。

ビニール製品が出回るにつれて最近、めっきり少なくなったおけ製品を、守ってきた努力が実っての受賞です。

農業のかたわら、養豚もされています。二月八日には、二十一頭もの小豚が出生。うち二頭は死産で、十九頭が元気です。不振だった昨年の分までと、意欲十分の南さんです。

明治生まれ

古里の吉富モトさん(92歳)



「元気で家の掃除ができるのが何よりも楽しい」と言われる吉富モトさんは、明治16年7月10日生まれます。

吉富さんが生まれた翌年には、大日本帝国憲法制定のため、憲法制度取調局が設置されています。

若い頃は、子供を育てるのに一生懸命でした。お陰さまで、3人の子供を、病氣ひとつさせたこともありませんでしたと言われる吉富さん。子供への深い愛情がしのべれます。

「丈夫な体は、薄着から。食事も腹八分に」と、子供や孫たちに教えてこられました。夕食時には小さなグラスに1杯だけ、養命酒やブドウ酒を飲まれています。庭や家の掃除、お風呂沸しは、吉富さんのいつもの仕事です。

洗たくも自分でされる吉富さん。体を動かすことが、適度な運動になり、健康に役立っているのです。

80歳を越した人の縁物を、赤ちゃんに着せたら、長生きすると、小さい頃母に聞いていたので、88歳の誕生日には、4人の孫たちに「自分の子供ができたらか着せなさい」と、1枚ずつ着物をプレゼントされたとか。孫思いの、良きおばあちゃんでもあります。

ライオンズクラブが寄附金

「目の不自由なかたを、交通事故から守って」と、このほどライオンズクラブは、その基金を市に寄附しました。

市はその主旨にそって、交通事故防止用の黄色の帽子150人分をつくり、視覚障害者協会にプレゼントしました。

障害者のかたがたも「こや良か帽子じゃっねえ。こいなら、歩いてされてん、けがせんがー」と、帽子を手に満足そうでした。



在宅医さん

三月十四日

阿久根内科(2)0578(新町)

内山病院(3)1551(高松)

石原病院(5)0045(橋之東)

三月二十日

上園医院(3)1055(本町)

田中病院(3)0553(大丸)

浜之上病院(2)6000(脇馬場)

三月二十一日

北園医院(2)0016(本町)

喜多医院(2)0038(大丸)

平 医院(5)2626(古里)

三月二十八日

堀切医院(2)0263(高松)

内山病院(3)1551(高松)

黒木医院(5)0200(下村)

犬はけい留し

放し飼いは

やめましょう

心身共に豊かな人間に

初の社会教育大会を開く



盛況だった社会教育大会

「すべての市民に学習の機会を」と、生涯教育の中で、新しい社会教育のあり方を見いだす、初の社会教育大会が、一月三十一日、市民会館ホールで開かれました。

市内の各種団体が連帯を深め、心身共に豊かな生活を送るため、生涯にわたって、学習を続けよう

というもので、会場には約五百人の関係者が集り、体験発表やパネル討議など、熱心に論議されました。

大会は、原崎一大会会長のあいさつなどに続き、社会教育に功績のあった団体や個人の表彰式のあと、宗岡市社会教育課長が、本市の社会教育の現状を発表し、次のような生涯教育推進の目標を述べました。

- ① 明るい未来をもつ幼児の教育
- ② 明日をにやう青少年の教育
- ③ 生活に結びついた婦人の教育
- ④ 郷土を興す成人の教育
- ⑤ 豊かな老後のため高齢者の教育

このあと、子ども会、青年団、婦人学級、家庭教育学級、高齢者学級など各種団体の代表十人が、活動状況を発表しました。

このなかで、倉津子ども会代表の倉津弘明君は、十年来途絶えていた鬼火たきを復活、毎年正月には、五穀豊じょうを祈る勸進九行事など、小中学生の手で引き継いでいると発表、会場の拍手を受けました。

午後からは、「これからの社会教育関係団体の活動は、どう進めたらよいか」をテーマに、パネル討議があり、公民館、PTA、生活学級などの代表が、連帯を深めながら、今後一層、社会教育を推進し、豊かな郷土づくりを図ることにになりました。なお表彰団体、個人は次のとおりでした。

- 団体 尾崎公民館、文化協会華道部、倉津子ども会、白濁高齢者学級
- 個人 寺地伊佐夫、松田道

社協だより

次のかたがたから、市社会福祉協議会に善意の寄付がありました。ありがとうございます。

香典返し寄付

- 池川チサ(湯) 山下正雄(棉之四) 松下保則(大林) 大田三造(尻上) 上野かず(羽田)
- 永田ハルミ(山下馬場) 堂之下富(黒之上) 坂元政造(大丸)
- 新伊常吉(湯) 中野タ子(中仁田) 佐藤亀三(佐湯) 大田隆藏(尻上) 巻木清志(浜) 荒本富見人(湯) 富浜孝志(協馬場)
- 石沢京(協馬場) 四郷ケル(棉之東) 和田力(倉津)
- 吉田ツヨ(傘田) 國田義雄(山下馬場)

特志寄付 村原春夫(大丸)

四月から賃金改定

出水地区 工友会

出水地区工友会では、四月一日より、左記のように、賃金を改定します。

- ① 二級技能士 六千円
- ② 二級建築士 六千五百円
- ③ 責任者 七千円
- ④ 満六十五歳以上の人と、養成期間七年未満の人は、その人の技能に応じ、一割引き以上となります。

固定資産台帳の縦覧は四月

固定資産課税台帳の縦覧については、三月一日から三月二十日までが縦覧期間となっています。

ところが、ことしは、地方税法の一部改正が予想されますので、昭和五十一年度の固定資産課税台帳の縦覧については延期します。

なお縦覧は、四月一日から四月二十日までの予定です。

国庫債券の買い上げや担保貸し付け

特別給付金(い号ろ号に限る)を受けている遺族のかたで、未支給分のあるかたの国庫債券を、ことしも買い上げたり、担保にして貸し付けます。

賦役者の妻等に対する特別給付金の手続きは、本年十月末日まで賦役者の父母等に対する特別給付金の手続きは、本年九月十三日までとなっています。詳しくは、市福祉事務所にお問い合わせください。

本之牟礼分校 大川小に統合

大川小学校本之牟礼分校が、昭和五十一年度から、大川小学校に統合されることになりました。

本之牟礼区では、五年生・六年生は大川小学校に通学しており、本之牟礼分校は、一年生から四年生まで八人です。四月からは、四年生一人が大川小学校に通学することになり、新入児童は五十一年度、五十二年度ともゼロです。このため、六ヶ離れた大川小学校に統合することになりました。

本之牟礼分校は大正三年六月

新学期からは、市が大川小学校まで、「通学タクシー」で送迎することになります。分校の校舎などは、市中央公民館本之牟礼分館として、本之牟礼区が管理し、公民館活動や社会教育活動に利用されることになりました。

本之牟礼分校は大正三年六月、四目尋常小学校の分教場として創立されました。昭和二十二年には独立して本之牟礼小学校に昇格、昭和三十一年から、現在の大川小学校本之牟礼分校となったもので六十二年の歴史に幕を下ろすことになりました。